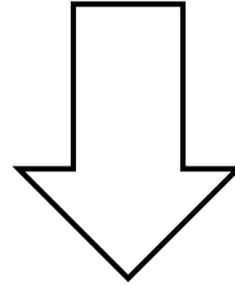


行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	特定感染症検査等事業費	事業開始年度	平成11年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 亀井 美登里		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	感染症の予防および感染症の患者に関する医療に関する法律第11条第1項の規定に基づく「性感染症に関する特定感染症予防指針」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・地域において、感染症予防のための体制整備や正しい知識の普及等を推進することにより、感染症の予防まん延の防止を図り、公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>・「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、保健所において、性感染症検査(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒、淋菌感染症の5疾患)及び性感染症に関する相談事業を行い、それに対して補助を行っている。</p> <p>【補助率】1/2</p>					
実施状況	・都道府県、政令市、特別区で実施。(箇所数:106)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	54	64	65	65	52
	執行額	62	66	73		
	執行率	114.8	103.1	112.3		
	総事業費(執行ベース)	189	202	148		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	・支出先。用途の把握については、事業完了後に提出される事業実績報告書において把握している。				
	見直しの余地	・性感染症については、若年層の罹患率の割合が高いことから、広く検査及び相談の機会を提供し、早期発見・早期治療につながるよう、性感染症検査及び性感染症に関する相談事業を引き続き推進する必要がある。				
予算監視の所見効率化	<p>一部改善(事業の優先度を勘案し縮減)</p> <p>性感染症検査等事業について、実施率を見直し、優先順位を付けるなど効率化を図ること。</p>					
補記						

厚生労働省  
61百万円

保健所における性感染症に指定した5疾患(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症)の検査事業及び相談事業に関する交付申請書の審査、交付決定等



【補助】

都道府県、政令市、特別区  
に対する補助  
【補助率 1/2】

A 都道府県、政令市、特別区  
(106) 61百万円

(内訳) 上位10者

1. 千葉県	6百万円
2. 大阪市	6百万円
3. 大阪府	4百万円
4. 東京都	4百万円
5. 京都市	3百万円
6. 茨城県	2百万円
7. 神戸市	2百万円
7. 北九州市	2百万円
8. 長野県	2百万円
9. 横浜市	1百万円
10. 福岡市	1百万円

保健所における性感染症に指定した5疾患(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症)の検査事業及び相談事業の実施

※返還額:5百万  
円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)

A.千葉県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
検査費	性器クラミジア感染症、梅毒(STS、TPHA)の検査費用の補助	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0